

復旧・操業再開の状況

復旧・操業再開の状況①：漁港の復旧状況

被害の拡大防止や操業開始に向け、応急工事で仮復旧、本復旧を実施

漁港数	被害あり	応急⇒本復旧			本復旧	方針に基づき 対応検討中
		完了	実施中	予定		
69港	60港	33港	2港	2港	19	4

令和7年1月31日時点

地盤隆起等甚大な被害を受けた漁港への対応



<漁港の復旧に向けて>

・3月25日に「能登の水産関係港の復興に向けた協議会（復興協議会）」を設置し、国の全面協力による専門調査*を踏まえ、漁業関係者や国・県・関係市町、研究機関などが参画し、復興方針の策定に向け議論を開始。

*：国（水産庁）は、4月から6月にかけて、有識者による「能登半島地震漁業地域復旧・復興技術検討会」を開催し、①漁港施設の被害状況、被災パターンの分析、②被災パターンに応じた復旧方法・手順等について技術的な検討を行い、その結果を復興協議会に提供。

・8月30日に開催された第3回復興協議会において、「生業の再建」「水産業の維持・発展」「漁村の維持・発展」の3つの柱を基本的な考え方とする復興方針を策定。今後は、1日も早い操業再開を目指し、復興方針に基づく段階的な復旧を進める。

災害査定の実施状況

・漁港の早期復旧に向けて、3月より災害査定を実施し12月に全て完了。

管理者	査定実施件数
石川県	134件
市町	429件
計	563件



災害査定の様子

復旧・操業再開の状況①：漁港の復旧状況

- 石川県内69漁港のうち、60漁港で被災し、外浦地域を中心に地盤隆起している漁港を多数確認。
- 被害の拡大防止や操業再開に向け、応急工事で仮復旧、本復旧を実施。

中島漁港 (七尾市管理・第1種漁港)

- ・ 船揚場
- 張ブロックに隙間が発生
- 砕石を充填及びコンクリート打設を行い、船揚場の利用を再開

(被災後) → (復旧作業の状況)

蛸島漁港 (県管理・第3種漁港)

- ・ 岸壁
- 岸壁のエプロン背後沈下が発生
- 砕石ですり付け、岸壁の利用を再開

(被災後) → (復旧作業の状況)

鰯目漁港 (七尾市管理・第2種漁港)

- ・ 物揚場
- 物揚場のエプロン沈下が発生
- アスファルトですり付け、物揚場の利用を再開

(被災後) → (復旧作業の状況)

野崎漁港 (七尾市管理・第1種漁港)

- ・ 物揚場
- 本体ブロック倒壊、背後エプロン崩壊
- エプロン撤去及び大型土嚢設置し、増破を防止

(被災後) → (復旧作業の状況)

赤神漁港 (輪島市管理・第1種漁港)

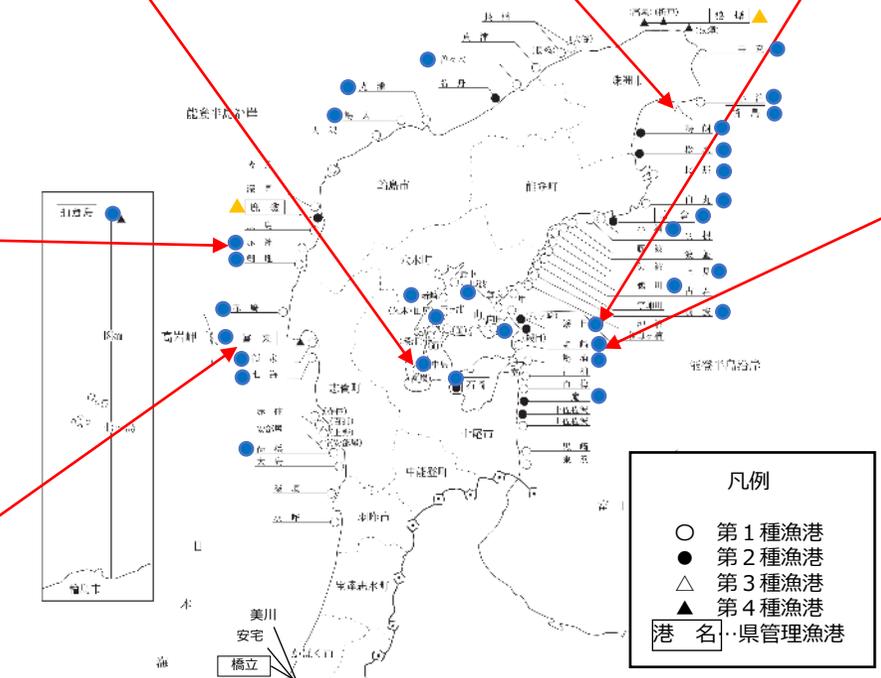
- ・ 航路・泊地
- 地盤隆起により、航路・泊地埋没く被害が発生
- 泊地内の土砂浚渫完了

(復旧作業の状況)

富来漁港 (県管理・第4種漁港)

- ・ 風戸泊地
- 地盤隆起により、泊地埋没く被害が発生
- 泊地内の土砂浚渫完了

(復旧作業の状況)



応急工事の実施状況

- ▲ 実施中 2漁港
- 実施中の応急工事がある漁港 ※1
- 完了 33漁港
- 全ての応急工事完了した漁港 ※2

※1 複数の応急工事実施箇所がある場合、全ての工事が完了するまで実施中としている

※2 ●を付した漁港で、追加の応急工事が生じた場合には▲に変更する場合があります

令和7年1月31日時点

復旧・操業再開の状況②：港湾の復旧状況

● 漁業活動に利用されている主な港湾

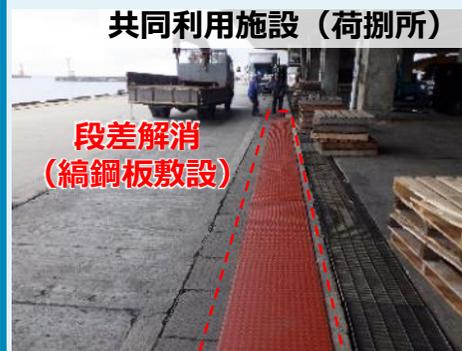
輪島港

- ・ 漁船移動に必要な水深を確保するための啓開(浚渫)作業が完了 (7/23)
- ・ 引き続き、利用再開に向けた浚渫工事 (本復旧) を実施中 (8/5～)
- ・ 漁業再建に向け、仮栈橋を設置(① 4/12、② 6/28)
- ・ 漁船係留のため、隆起した物揚場を切下げ (4/8)



小木港

- ・ 荷捌所周辺用地を応急復旧 (2/12)
- ・ 港周辺の臨港道路の応急復旧 (3/6)



宇出津港

- ・ 定置網の補修場所確保のため、ふ頭用地を応急復旧 (8/2)
- ・ 沈下した臨港道路の冠水対策として舗装を嵩上げ (8/1)

